

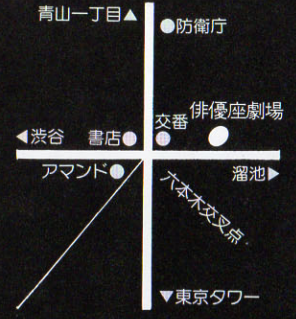


●俳優座劇場(六本木)
TEL:47012880

●12月22日(水)―26日(日)
開演:午後6時30分
(開場:午後6時)

●土・日・マチネあり
開演:午後2時30分
(開場:午後2時)

●¥1,200
(前売:¥1,000)



●問合せ先
俳優座劇場
渋谷区代々木1-4
379-5082
(13時~17時まで)
▼各プレイガイドにて発売中

新選組異聞

作・演出 ● 岡部耕大

われ心情の翼にのりて

殺気の時代到来!!
エスカレートする空間演技が冷えきった劇界に
熱く心情の翼を燃やして叩きつける
魂のドラマツウルギー!!

●キャスト

- 赤穂善計 妹尾琢磨
- 尼子狂児 高橋真三樹
- 岩手太郎 西村和夫
- 内村健治 本多博太郎
- 海原俊介 谷津公彦
- 大木正司 生方萌
- 大竹まこと 北川裕子
- 風間杜夫 木村みつえ
- 古関安広 高橋千鶴子
- 近藤茂夫 谷口いずみ
- 齊木 滋 馬淵正子

●スタッフ

- 美術 キヤマ晃二
- 照明 小関英男
- 音響効果 市米邦比呂
- 衣裳 伊藤保忠
- 小道具 西島隆
- 大道具 前進座大道具
- 音楽 三王寛
- 大木正司
- ミルキー・ベイビー
- 舞臺監督 田原道夫
- 企画制作 空間演技 中山亜夫

●倭人伝

昭和50年4月―於俳優座劇場
「ぼくが近年体験した芝居ないし戯曲の中で、圧倒的なエネルギーと叫びを内包した作品といえます」
――清水邦夫(劇作家)

●倭人伝外伝

昭和50年12月―於青年座劇場
「岡部耕大は、現在の演劇界で見る限り幻の舞台に一番近い所にいる芝居人なのだ。彼は明らかに〈芝居の神〉に狂わされている。〈生きらぬ〉という思い、だからそれを上回って生きねばならぬという切迫感が彼の今までの舞台を貫いて来た。」
――工藤 隆(劇作家)

●海と組織

昭和51年5月―於俳優座劇場
「劇を堪能した。素晴らしい集団が突如出現したものである。次は何をやるのだろうか。」――多々良純(俳優)
●さすらいよあれがぼくの風だ
昭和51年8月―於太陽神館
「さわやかな舞台を見せてくれたのは、空間演技公演〈さすらいよあれがぼくの風だ〉(作・演出岡部耕大)である。唐十郎とつかこうへいをたして岡部耕大で割ったような作品だが、若い役者たちの肉体の動きが実に気持ちいい。」
(8月30日付読売新聞夕刊より)